

地主の典型

愛知 渡邊 生

愛知縣新城市宮田村宮田の  
水田は、毎年水害其被害の  
甚く小作するものがなかつた  
ところが、昨年の梅雨期に  
地主側から「採米はいくらで  
もいいから作つて呉れ」と懇  
願して来た、義理賢い小作人  
のことだからこれを承諾して  
作つたところが、後継が意外  
に多かつたので、地主は例の  
貧窮な窮民をふき出して、嚴  
然と小作料の取立をした。こ  
れには後者にお人好しの小作  
人も憤慨して、本年度梅雨期に  
至つて土地保護で問題を起し  
てゐる。

戦は初まる

富山 支那 報

富山縣における小作人運動  
は、例年運動らしい傾向も、  
色どろもない。注々突進する  
事件は地主側の強硬的対応に  
依つて起つたものだ。今春米  
争議もやつたのは、上野川郡  
栗原村の小作人使のものだ。  
そして四月には河津郡武高

栗原村に小さい争議が一つあつ  
た。資本主義を無様に攻撃す  
る北極タイムス紙は、五月八  
日の三面に栗原村の一大小作  
紛争と、冒頭して四段位埋め  
て居る。小作料一戻歩一石五  
斗の處を、八斗にしろ、出来  
なければ土地返還せんと  
言つたらしい富山の小作人も  
ぼつ／＼活動するようだ。

小作人の敵

山形 高橋 生

傳述小作人の敵は地主であ  
るが機合ひからニヤ／＼して  
親切らしく言ひ寄つて来る野  
心家も矢張り敵だ。歌されち  
や駄目だぞ。俺の村では地主  
共のイヌである小学校の先生  
共が模範青年だと何とかね  
かして、闘争心に燃えてる青  
年をゴマカして黽勉した階級  
的戰鬥意識を鈍らそうと懇つ  
てゐる。ワン馬鹿野郎共、今  
に吠え回さくな。俺達は何時  
までも無智ではないのだ。歌  
されちやぬないのだ。

生活と生存

前手 瀬川米八

地主共は、傳述小作人を入  
顔でない顔に思つてゐるらし  
いが、傳述小作人のオカゲで  
飯を食つて、靴を履いて、金  
庫の裏に貯めてある事は見事に忘  
れてゐる。俺達の汗水流して  
作つたものから、テラ、カス  
ヲをフンだくつて、それで誰  
の様に思えてゐることが出来  
るんだ。

傳述小作人が置かぬや  
一粒の米だつて出来やしない  
んだそれなのに、猫の顔のや  
うな田舎も地主に捨きあけら  
れ、仕方なしに小作すれば目  
の玉の投げる程小作料ととり  
やがるドドのつまりは、雨風  
をならぬ家までも手放さなき  
やならぬ。

斯く傳述小作人の實際は、  
人間としての生活どころか、  
生存すらも出来ない有様だ。  
が、俺達にもよりよく生きや  
う、人間としての生活をした  
いと云ふ生活本能といふ奴は  
あるんだこの、生きやうとす  
る意思、本能が傳述小作人の  
運命の根柢になつてゐるのだ  
が、カンジンの兄弟の中に  
まだこの世の中を有能がつて  
ゐないまでも、仕方がないと  
諦めてゐるものが多い。吾々  
は、この諦めめ哲學を捨て  
、とる文けのものは必ず手  
取るといふ意氣で進まねばな  
らぬ。

編輯室より

閣下は賢明だ。小作人は非常  
に忙がしい。この忙がしい中に小  
作運動の起るのは何故か。小作人  
は日課の出来たのだ。忙がしい思  
ひをして、自分のものにならな  
いのを考へて来たのだ。

小作人組合の地方的全国的聯  
合の組織も可成進んで来た。今年  
米までには、具體的に現はれるだ  
らう。

閣下中具合が、非常に苦しい。  
出来るだけ送代を待つて置きたい  
ものだ。亦雜誌は出来るだけ廣く  
配布したいのだから申込んで下さ  
れば、何程でも送るから出来るま  
け配つて欲しい。

閣此の雜誌を持つて歩いて、同  
人の名を顯る奴があらうだが、  
署名人の紹介状を持たぬ者に對  
して歸郷料廣告料を拂つても、  
本同盟は責任を持たない。

閣下諸君一君は、先月十四日、  
保留出獄した。今御用に行つて新  
作に關してゐる。故村でも歸つた  
ら、大いに赤旗を振ると言つてゐ  
る。

閣小作人は小作人自身のもの  
だから、地方で學びや出来ず、  
どし／＼進出して欲しい。

閣同人、中在平力は御愛護で  
同志として信用出来ないから除名  
した。今度農村運動同盟とは一  
切關係ないから左様御承知を乞  
ふ。

地方支部

- 和歌山支部 小倉 敬介
- 關西支局 淺見 吉嗣
- 岡山支部 山下儀平治
- 廣島支部 丹 悅 太
- 茨城支部 野村 楠孝
- 千葉支部 渡邊 精一
- 栃木支部 廣瀬 雄太郎
- 青森支部 山田 敬一
- 富山支部 中島安太郎
- 鹿兒島支部 熱 池